

貸借対照表

2017年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,346,945,667	4,740,874,385	△ 2,393,928,718
有形固定資産	2,345,062,230	4,738,990,948	△ 2,393,928,718
土地	177,701,562	627,084,764	△ 449,383,202
建物	1,914,206,865	3,752,514,521	△ 1,838,307,656
構築物	55,710,985	69,896,542	△ 14,185,557
運用土地	2,136,736	2,136,736	0
教育研究用機器備品	25,116,941	35,873,878	△ 10,756,937
管理用機器備品	1,096,094	30,379,274	△ 29,283,180
図書	169,093,047	220,332,853	△ 51,239,806
教育研究用リース資産	0	772,380	△ 772,380
その他の固定資産	1,883,437	1,883,437	0
電話加入権	1,453,437	1,453,437	0
有価証券	430,000	430,000	0
流動資産	208,365,992	246,037,099	△ 37,671,107
現金預金	88,457,919	163,949,369	△ 75,491,450
未収入金	119,724,473	79,832,300	39,892,173
前払金	183,600	2,255,430	△ 2,071,830
資産の部合計	2,555,311,659	4,986,911,484	△ 2,431,599,825

(単位 円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	277,254,029	407,477,949	△ 130,223,920
長期借入金	99,026,754	91,133,459	7,893,295
学園債	8,000,000	0	8,000,000
退職給与引当金	170,227,275	316,214,815	△ 145,987,540
長期未払金	0	129,675	△ 129,675
流動負債	656,230,346	721,179,127	△ 64,948,781
短期借入金	451,706,705	516,920,136	△ 65,213,431
未払金	159,516,467	109,446,951	50,069,516
前受金	25,800,000	80,798,000	△ 54,998,000
預り金	14,096,407	8,811,273	5,285,134
仮受金	5,110,767	5,202,767	△ 92,000
負債の部合計	933,484,375	1,128,657,076	△ 195,172,701
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	3,927,371,535	7,240,141,405	△ 3,312,769,870
第1号基本金	3,801,371,535	7,039,455,405	△ 3,238,083,870
第4号基本金	126,000,000	200,686,000	△ 74,686,000
繰越収支差額	△ 2,305,544,251	△ 3,381,886,997	1,076,342,746
翌年度繰越収支差額	△ 2,305,544,251	△ 3,381,886,997	1,076,342,746
純資産の部合計	1,621,827,284	3,858,254,408	△ 2,236,427,124
負債及び純資産の部合計	2,555,311,659	4,986,911,484	△ 2,431,599,825

(注記)

1. 重要な会計方針
 - ①引当金の計上基準
 - 徴収不能引当金
未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。
 - 退職給与引当金
退職金の支給に備えるため、以下の基準で計上している。
 - 大学
期末要支給額を基にして私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付額との繰入調整額を加減した金額の100%を計上している。
期末要支給額 0 円
 - 高校
期末要支給額から京都府私学退職金財団よりの交付金相当額を控除した額の100%を計上。
期末要支給額 682,771,885 円
 - ②その他の重要な会計方針
 - 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法
預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。
仮受金に係る収入と支出は相殺して表示している。
仮払金に係る収入と支出は相殺して表示している。
2. 重要な会計方針の変更等
該当なし。
3. 減価償却額の累計額の合計額 1,545,989,327 円
4. 徴収不能引当金の合計額 2,000,000 円
5. 担保に供されている資産の種類及び額
 - 土地 155,062,726 円
 - 建物 564,327,445 円
6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 91,133,459 円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
 - 第4号基本金 126,000,000 円
 - 資金
 - 現金預金 88,457,919 円
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項
当該年度において、成美大学短期大学部閉校とした。
現在、短大の廃止認可および高等学校法人化の認可手続きを行っている。
成美大学短期大学部の会計部門は、当該年度までである。